

今月号の主な内容

年頭のごあいさつ	2~3
保育園の統廃合について	4~5
今年は申年です	6~7
交流物産館の建設に着手	8
雪洞火ぼたる祭開催のお知らせ	9
総合学習の成果を発表 (川口小、泉水小)	10~11
ほか	

あけまして  
おめでとうございます

川口町町民憲章

平成14年4月制定

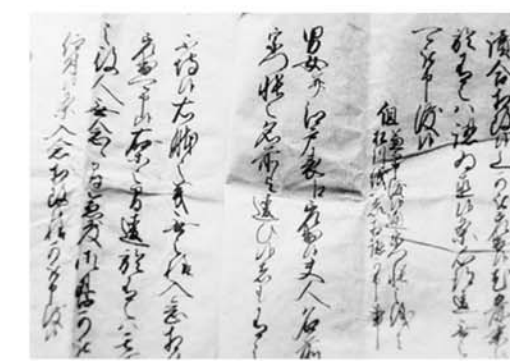
大河信濃川と清流魚野川の出会う緑豊かな私たちの川口町。

この町に住むことに喜びと誇りを持ち

確かな明日へとつなぎつづけるための道しるべとして

この憲章を定めます。

- 豊かな自然と共生し、心やすらぐ町に
- 出会いと交流を大切に、人情あふれる町に
- 働く喜びに満ち健康で、うるおいのある町に
- 風土、歴史、文化に誇りと自信を持ち、夢のある町に
- 互いに学び高めあう、希望のある町に



江戶夫人

かわぐち歴史探訪 22

▲真島兵内家文書に見られる夫人の記述

江戸時代の公租の中にはさまざまの形があり、年貢米を筆頭に使役などもある。糸魚川藩では夫人と言って江戸藩邸の小間使いをする人を徴発した。この外にも大坂御定番として大坂城下警護のために夫人を徴発していた年もあった。

人数は100石に1人であったから、西川口村では毎年2人から3人を1年間江戸へ出さねばならない。江戸藩邸は恒常的に夫人を必要としていたから、一人前の男子を取られるので農民には、はなはだ迷惑なことであった。

年齢は20歳から50歳を過ぎた者であった。毎年全員が変わってしまつと困るので、1年以上続けて

勤務する者も必要とした。これを居成夫といひ、新規勤務者を新夫人という。中には数年継続して勤務している者もいたようである。文化13年、江戸の糸魚川藩邸か、下屋敷には川口村半六が勤務することから2両が夫給として支払われている。(広神村史資料編)

この川口村は分郷川口村のことで西川口村のことを指しており、庄屋は忠藏と兵内であった。

夫人は、江戸大坂の文化や習俗、情報を地方にもたらした。江戸で欠落(行方不明)したり、罪を犯したり、死亡した者もあったという。夫人制は他の藩や幕領では、あまり資料が出てこないため具体的な研究例は少ない。

▼新年あけましておめでとうございます。今年も広報かわぐちをよろしくお願ひいたします。▼今月の表紙の写真は正月らしい雪景色を載せたいと思つていましたが、雪が少なくよく晴れた日もなく困つていました。唯一青空の晴れた日に信濃川と魚野川の合流点の見える河岸へ行ってみました。撮影場所は雪が溶けてぬかるみ、滑りやすくなつていて、写真撮影に夢中になつていた私は転倒し、泥だらけになつてしまいました。この苦労の1枚は残念ながら雪景色ではありませんでしたが、偶然飛んでいた鳥を撮影することができました。表紙はお正月らしくたてしようか?▼今年も取材で皆さまにご迷惑をおかけすることがあると思ひますが何卒よろしくお願ひいたします。





# 年頭のごあいさつ

川口町長 星野和久

新年あけましておめでとうございませう。

町民の皆様には、平成16年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より町政に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

年頭にあたり、心を新たにして川口町の発展のため全力を傾けてまいりますので、重ねて町民の皆様への温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は10年ぶりの冷夏に見舞われ、特に水稲の生育状況におきましては、6月以降の低温・日照不足などにより稲の生育が遅れた上、実が入らない「不稔」の状態も多発し、魚沼の作況指数では、平年に對し「97」と「やや不良」となり、大変厳しい結果となりました。また、9月中旬から10月初旬にかけて雨にたたられ、稲刈りにも非常に難儀をされたと聞いております。

こうした気象条件下でしたが、当町におきましては大きな事件事故もなく、安心して越年したところでありませう。町政の執行につきましては、町民の皆様のご協力により、当初計画しておりました事業がほぼ予定どおり進展しておりますので、その主なものを報告させていただきます。

現在、国が示した「新たな米政策大綱」いわゆる消費者サイド、市場重視の考えに立つた農業者主体の「コメづくり」に向け、地区ビジョン策定会議や地域懇談会を重ねております。今後、平成19年度を目途に、「生き残る産地」「農業所得の向上」を目指し、農業経営構造改革を強力に推し進めていく所存ですので、農家の皆様のご理解とご協力を強くお願いするものであります。

県営事業の牛ヶ島地区「農免農道整備事業」につきましては、本年度に道路部の用地補償を完了し工事の一部に着手することとしております。橋梁部は、橋脚5基が既に着工され、平成17年度までの継続費として実施することとなっております。

また、「中山間地域等直接支払制度」につきましては、町内の急傾斜地144ヶ所、緩傾斜地40ヶ所が支払要件に該当し、うち集落協定締結の合意が整い交付金支払可能な団地が19団地、122ヶ所となり、交付金を使った共同取組みによって農地保全等が着実に進められています。

次に、「健康づくり」についてであります。超高齢社会を迎え、食生活や運動習慣と深く関わりのある糖尿病

まず、「川口橋架換事業」につきましては「道路改築事業」により進められておりますが、東川口側の取付部及び橋台工事に着手しました。町としても、事業の一層の促進と早期供用開始に向けて全力で働きかけてまいりますので、特段のご理解をお願いいたします。

「魚野川水辺プラザ整備事業」につきましては、川を地域交流の拠点として、川に学ぶ体験の場として活用するため、国土交通省と町が一体となって取り組んでおり、川口や周辺の「せせらぎ水路」は既に完成し、東川口地区の工事に着手したところでありませう。また、和南津地区の「自然学習ゾーン」についても、実施のための準備を進めているところであります。「川のまち・川口」を町内外にアピールするとともに、河川空間を中心に水辺の魅力を最大限に発揮できるものとして大きな期待をし、事業の進捗を図っております。

「まちづくり総合支援事業」につきましては、東川口地区の生活環境基盤を大きく前進させるものと期待される「東川口環状線」の用地補償を進めているところであります。

次に、本町の農業を中心とした「地域経済循環システムづくり」と、町民の「健康づくり」の拠点となる総合交流拠点施設「和楽美の湯」は、オープンなどの生活習慣病や、これに伴い、痴呆や寝たきりなどの要介護状態になってしまふ人の増加は深刻な問題であり、町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、普段から健康づくりに関心を持つことが何より大切であります。

このような観点から、昨年オープンした総合交流拠点施設「和楽美の湯」において運動による生活習慣病予防事業「いきいきアップ教室」を開設したところでありませうが、効果は確実に現れ、利用者から好評をいただいております。トレーニングは高齢者の健康づくりにも大きな効果をもたらしますので、多くの町民の皆様からのトレーニングルームの利用を期待しているところであります。

次に、「生涯学習事業」の推進につきましては、「かわぐち学びの里大学」をはじめ「交流体験館」を拠点に、「まちづくりは人づくり」から「人を高めることが町を高めること」という観点から、生涯を通じて「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶことの出来る環境づくりを進めておりますが、更に子供たちの豊かな心の育成にも一層努めてまいります。

次に、「荒屋遺跡」につきましては、文化財審議会が文部科学大臣に答申し、本年、正式に国の史跡として指定されることになりました。この遺跡は

ン以来入場者が月平均3千人の増加となったほか、トレーニングルーム登録者数は438人（うち町内344人）、利用者は月平均350人、館内の農産物販売額は月平均150万円を超え、農産物の消費拡大と農家所得の向上、町民の健康づくりに大きく貢献しているものと確信しているところであります。

また、建設中の「健康増進施設温泉棟」には、健康増進のための流水プールやマッサージプール、トレーニングプールのほか、本格的な露天風呂や源泉浴などの施設も整備されますので、一層の健康増進や交流人口の拡大に大きく期待しているところであります。

中山内内の「交流物産館」の建設は、本年の完成を目指して順調に工事が進んでおります。すでに国土交通省から「道の駅」の認定をいただいております。川口町の「顔」としての役割を担うもので、本町の農産物換金システムの確立や農産加工品、手工芸品の販売、体験交流の場づくりなど地域おこしの施設として期待しており、農家所得の向上と農業経営の活性化はもとより、地域経済の確立にも寄与するものと思っております。

「水田農業確立対策」につきましては、昨年度が平成16年度のコメの生産目標数量を示し、本県の生産目標数量は昨年度の1・5%増となりました。

旧石器時代後期の遺跡を代表するものとして、学会で高く評価されており、今後は貴重な遺産として適切に保護し、これを後世に伝えるとともに公開と活用を図り、埋蔵文化財に対する愛護思想の普及・啓発に努め、一層の文化の向上に資する考えであります。

次に、「特定環境保全公共下水道事業」につきましては、「中山地区国道17号沿い山側」と「天納地区」の工事が完了し、昨年供用開始をいたしました。また、西倉汚水幹線工事につきましては、農免農道整備事業に併せて事業を進めることとし、工事に着手したところでありませう。下水道整備の進展により、自然環境の保全や生活環境の改善がまた一歩大きく前進したものであると思っております。

以上、町が現在取り組んでいる主要事業の進捗状況の概要を述べさせていただきます。

私は、今後とも豊かな自然との共生を基本理念に、「魅力ある川口」の基盤づくりに向けて、全力を尽くす決意であります。

どうか町民の皆様におかれましては、旧に倍しまして、ご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年も町民の皆様が、健康で幸多い年でありませう心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



## 平成16年度町立保育園の入園 申し込みを受け

### 受付期間

平成16年1月5日(月)から16日(金)まで  
※現在保育園に入園されている方は改めてご連絡します。

### 入園対象者

小学校就学前の平成15年10月1日までに  
生れた乳幼児。

### 入園先保育園

住所地に関わらず、定員の範囲内で希望  
する保育園に入園することができます。

なお、平成16年度から上川保育園は東川  
口保育園へ統合され、田麦山保育園は東川  
口保育園の分園となります。

### 申込方法

入園申込書に必要書類を添えて入園を希  
望する保育園に提出してください。入園申  
込書などは、各保育園に用意してあります。  
詳しくは各保育園にお問い合わせくださ  
い。

- 東川口保育園 ☎ 89-2028
- 西川口保育園 ☎ 89-3696
- 上川保育園 ☎ 89-3555
- 田麦山保育園 ☎ 89-4150

## 臨時保育士を募集します

町では、平成16年4月から平成17年3月31  
日まで1年間勤務の臨時保育士を募集しま  
す。

保育業務に意欲のある方の応募をお待ちし  
ています。

募集人員 1名

### 申込み期限

平成16年1月30日(金)

### 問い合わせ

総務課 ☎89-3111

アンケート結果でも「子育て相談を  
してほしい」や「子育て中の母親  
との意見交換、交流の場がほしい」  
などの意見が多くありました。  
子育て支援センターは、子育て  
家庭の支援活動の企画、調整を実  
施する担当職員を配置し、保健師、  
栄養士、その他関係機関と連携を  
図りながら、子育て家庭に対する  
育児不安、相談指導、子育てサー  
クルへの支援などを行います。  
また、放課後児童の支援及び高  
齢者と子どもたちの交流の場とし  
ての活用もしています。  
詳しい内容については、改めて  
お知らせいたします。

### 特別保育の実施

町では、仕事や社会活動などを  
されている方のために、次のよう  
な子育て支援に努めています。

#### 3歳未満児保育

3歳未満の乳幼児(生後6か月  
以上含む)を対象に東川口保育園  
で実施しています。(保護者の送  
迎による)  
年度途中に入園を希望する場合  
も今回申込みをしてください。  
人数に限りがあり、受入れでき  
ない場合もあります。

#### 一時保育

保護者の就労や傷病、入院、看  
護など、緊急一時的に家庭で保育  
ができない時に入園できます。対  
象者は川口町に住む満1歳から就  
学前までの幼児で、お預かりでき  
る期間は月に14日以内です。保育  
料は1日につき1,200円です。

#### 延長保育

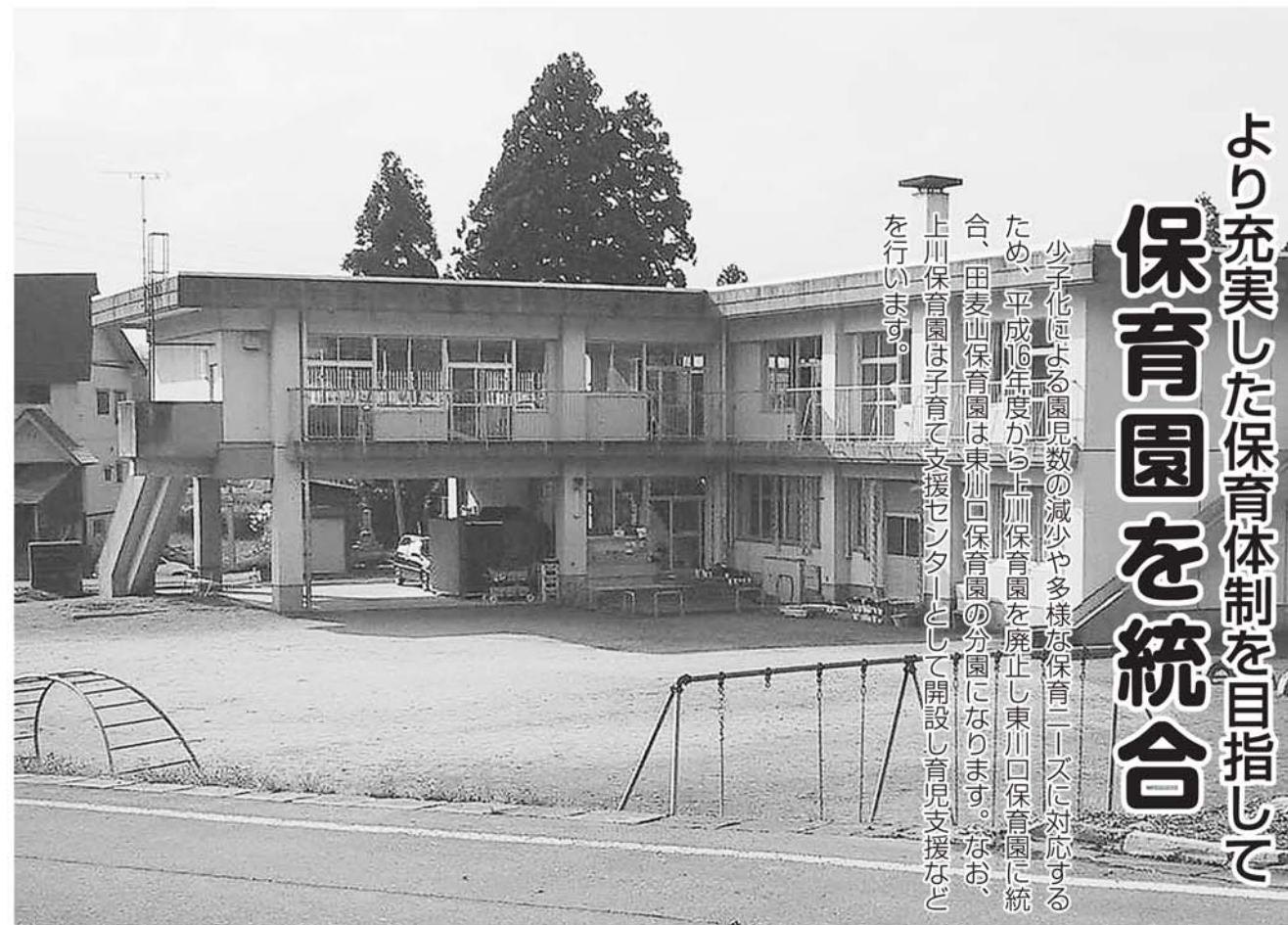
保護者の就労の都合などで、保  
育時間の延長を希望することがで  
きます。  
早朝は7時30分から、夕方は平  
成16年度から30分延長し、最長で  
19時までの保育を東川口保育園、  
西川口保育園で実施します。



※お子さんの心身の成長、発達に  
不安のある方は、保育園にご相談  
ください。

## より充実した保育体制を目指して 保育園を統合

少子化による園児数の減少や多様な保育ニーズに対応する  
ため、平成16年度から上川保育園を廃止し東川口保育園に統  
合、田麦山保育園は東川口保育園の分園となります。なお、  
上川保育園は子育て支援センターとして開設し育児支援など  
を行います。



▲上川保育園は廃園になり子育て支援センターに

### 保育体制の見直しを

町では「延長保育」や「一時保  
育」「3歳未満児保育」を実施し  
保育内容の向上に努めています  
が、少子化で園児数の減少が進み、  
保育へのニーズも多様化するなか  
で、子育て支援や相談体制の充実  
など、より密度の濃い保育園サー  
ビスが求められています。このた  
め、保育園の統合を含めた保育  
体制の見直しを進めてきました。

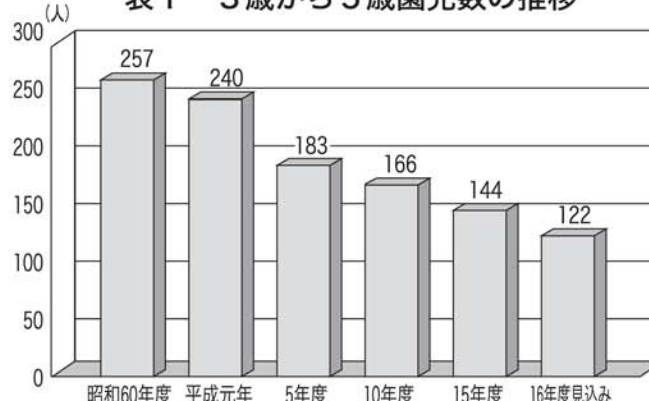
### 数回の説明会を実施

町の3歳から5歳の園児数は  
(表1)のように減少をつづけて  
おり、平成16年度には122名に  
なる見込みです。

このような少人数による保育は  
子ども同士の自主性や社会性が育  
ちにくいなど子どもたち自身のす  
こやかな成長にとつての問題も指  
摘されています。

上川、田麦山保育園の現状と今  
後の保育園の体制について、保護  
者などと数回にわたり説明会を重  
ねた結果、平成16年度から上川保  
育園は廃止し東川口保育園と統  
合、田麦山保育園は東川口保育園  
で行う事業や交流を進めながら、

表1 3歳から5歳園児数の推移



今までの田麦山保育園で保育を行  
う、東川口保育園田麦山分園とし  
て実施することになりました。

### 上川保育園を 子育て支援センターに

統合される上川保育園は子育て  
家庭の育児支援などを目的に、平  
成16年度から「子育て支援セン  
ター」として開設します。  
国内ではここ数年、子どもへの  
虐待の増加、育児不安、育児スト  
レスなどが表面化してきました。  
子育て中のお母さんたちは、育児  
に不安や悩みを抱えていることが  
多く、昨年のエンゼルプランのア



# 今年は何年

さるどし

## 申年

新年あけましておめでとございませう。  
皆さん、昨年はどのような一年だったでしょうか。  
新しい年を迎えて今年に寄せる思いは人それぞれに  
あると思います。  
毎年恒例、今年干支を迎えられた10人の方から新  
年の抱負を語っていただきました。



### 平成4年生まれ



喜多村 勇吾さん  
(上河原)

今年の目当ては、学習をしっかりとするこ  
と、強い体をつくることのみならずです。宿題  
だけではなく、復習を中心とした自主学習も  
計画的に進めていきたいです。また運動を  
しっかりと、心も体もきたえていきたい  
と思います。  
3学期は、6年間の思い出をふりかえりな  
がら、中学校入学に向けた心の準備をしっか  
りとしていきたいと思っています。

### 昭和55年生まれ



喜多村 拓巳さん  
(下村)

私は現在フリーターとして働いています。  
始めの頃は、この先どうなるんだろうと思っ  
ていました。  
しかし、目標を持ちながら働いている人た  
ちを見て、意識を変えることができました。  
社会人としての基本を学び、将来に続くよう  
に働いていきたいと思っています。  
来年は目標を持ちその目標に到達できるよ  
うにがんばっていききたいと思っています。

### 昭和43年生まれ



中林 夏希さん  
(川口3)

今年、がんばりたいことが2つあります。  
1つ目は、学習です。自分で計画を立てて  
進める自主学習をずっと続けていきたいで  
す。2つ目は運動です。特に親善運動会では  
100m走と走り幅跳びに出て、今年をこえ  
る成績を残したいです。  
今年、わたしにとって小学校生活のま  
めの年です。下学年のお手本になれるよう  
にがんばりたいです。

### 昭和19年生まれ



平澤 裕美さん  
(大谷内)

結婚をして子供が生まれ、現在は産まれて  
間もない娘と日々穏やかに過ごしています。  
子供が産まれて私も親になったわけですが、  
子供を育てる大変さ、責任の重さを感じ改め  
て両親の有り難さを感じている頃です。  
今年の抱負というか今後の抱負になるの  
ですが、自分自身が子供の見本となるよう成  
長するとともに、子供と一緒にいろんな事  
にチャレンジして一緒に成長していければと  
思っています。

### 昭和31年生まれ



廣井 渡さん  
(相川2)

昨年、地域づくり活動に触れる機会を得ま  
した。住んでは居ても、今まで町の変化にも  
気づかない様な私にとって、自分の住む町を  
見つめる格好の機会になりました。  
多分に情緒的でもあるのですが、互いの顔  
の見える規模の町の安心感や、むしろ緩やか  
な変化であるが故の町の尊さみたいなことを  
最近感じています。  
これからも機会を見つけては、町との関わ  
りを探してみたいと思っています。

### 昭和19年生まれ



小宮山 松壽さん  
(原新田)

私も今年還暦を迎えました。仕事は、土木  
建築の仕事です。退職後は家にいて、植木で  
もと思いますが、まだそんな事はできません。  
若い人たちに負けず、若い人たちに仕事を教  
えて行きたいと思っています。  
川口町も新しい川口橋ができ、西倉、牛ヶ  
島への農免道路完成、いろんな所で新しい道  
路ができ、町民の皆様も慶び新しい時代へ  
新しい年を迎え人生は健康が第一です。人  
生いい事が有れば悪い事もありません。私  
もがんばります。町民の皆様も健康で幸多い年  
で有りますように心から祈念申し上げます。

### 昭和43年生まれ



広井 裕二さん  
(相川2)

早いもので3度目の年男を迎えます。子供  
たちの成長ばかりに気を取られ、自分がおじ  
さんになっていくことを忘れていました。  
いつの間にか母親の背を越し、私にはわか  
らない勉強をし、スポーツに励み精一杯今を  
楽しんでいく子供たちを通じ、少しでも私も  
成長していければと思います。幸せな事に、  
7人と犬2匹という大家族に恵まれ、賑やか  
に毎日を過ごしています。暗いニュースばか  
りが目立つこの頃ですが、みんなが健康で  
笑って過ごせるようにと思っています。

### 昭和31年生まれ



山田 久美子さん  
(中新田)

川口町に生まれ育って、今日まで平穏な毎  
日を送ってきましたが、近年体調をくずし、  
健康である事のありがたさが身にしみて感じ  
るこのごろです。健康第一、今年の目標です。  
昨年、前から興味があった手話を習い始め  
ました。サークルでいろんな人たちと出会い、  
関わることで新しい発見があったり、自分の  
知らない事を教えてもらったりで、またが  
んばろうと言う気持ちになります。  
何事も前向きにプラス志向で過ごしたいと  
思います。

### 昭和19年生まれ



覚張 温子さん  
(下村)

故郷にUターンして早12年、親のそばで暮  
らし、懐かしき友と出会い、子と歌った母校  
の校歌に感激した日々の中で、4人の子の  
育てを終え、今好きな仕事で安全運転に心  
かけて頑張っています。疲れもせずによく  
この歳まで駆け抜けてきたというのが正直な感  
想です。  
今年少し立ち止まって大切な家族との時  
間をゆつくりと持とうと思っています。まだ、60  
歳、今日出会う縁を大切にしながらまた町内  
を走りたいと思っています。



## 第6回えちごかわぐち物語04冬 雪洞火ぼたる祭

私たちの町が持っている資源を最大限活用した、全町民、全地域が一体となって創りあげる冬の祭典「雪洞火ぼたる祭」の季節がやってきました。第6回目を迎える今年も、およそ4万本のキャンドルが町中に灯されます。皆さんの手で幻想的な夜を演出してみませんか。

**期 目** 2月7日(土)～8日(日)  
**会 場** 町内全域  
**メイン会場** 蒼丘の杜公園多目的広場  
**主 催** 雪洞火ぼたる祭実行委員会



### 雪灯り廻廊制作ボランティア募集



幻想的なまつりを演出するために、会場付近の雪灯り廻廊を制作するボランティアを町内外から広く募集します。

制作終了後は、メイン会場でみんなでまつりを楽しみながら交流する予定です。

内容：会場付近の雪灯り廻廊制作

雪灯りの灯火

申し込み・問い合わせ

実行委員会事務局（企画商工課） ☎89-3112

雪灯り部会代表 星野 正美 ☎89-3089

### 「ふるさと市場」出店者募集



町内の団体やサークルが制作した手工芸品や民具、加工品などの販売を行う「ふるさと市場」への出店者を募集します。皆さんの日頃の活動を、販売を通じてPRしてみませんか？

内容：地元町民、団体が制作した手工芸品などの販売  
販売所の制作

申し込み・問い合わせ

実行委員会事務局（企画商工課） ☎89-3112

ふるさと市場部会代表 保科 彰（川口郵便局長）

☎89-2050



## 「道の駅」指定、農産物販売拠点 交流物産館の建設工事始まる

町が取り組んでいます農業構造改革の一環として、農産物販売の拠点となる「交流物産館」の工事が11月から始まりました。

### 地域特産物の 流通が広がる

本施設は、国、県の助成を受けて、町の農産物をはじめ町内で生産加工された農産物加工品や手工芸品などの販売、体験交流の場としての役割を果たします。

また、平成15年8月に国土交通省の「道の駅」の認定も受けており、バスや乗用車など合わせて51台が駐車できる交通の拠点となります。

### 交流物産館で 農産物を出荷しませんか

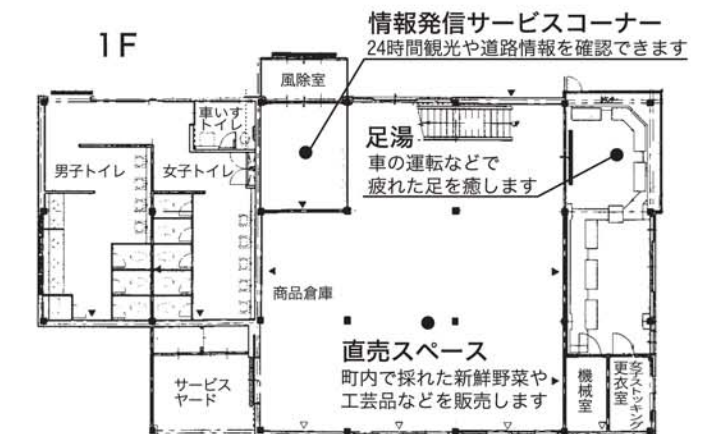
交流物産館は、毎日営業を原則とし、売り場面積も広いことから現在の直売量では不足とされています。

多くの農家の方から参加していただき、生産者の顔が見えるおいしい野菜を販売し農家収入の向上を目指しませんか。現在の直売参加農家は約130人で年間売上は1,500万円に達しています。

申込み、問い合わせ

農村振興課 ☎89-3113

建物は木造一部2階建てで延床面積は約400平方メートル。1階は町内で生産された農産物などを販売する直売スペースや観光、道路情報を24時間確認できる情報コーナーのほか、旅の疲れを癒すため天然温泉を活用した「足湯」が、2階は事務室や会議室が配置されます。オープンは平成16年5月の予定です。



施設紹介



# 子供たちの生きる力を育む 総合的な学習の時間の取り組み

昨年度改訂された学習指導要領。その一つとして「総合的な学習」があります。どのような目標を設定し、どのような学習活動を行うかは各学校の創意工夫により行われ、これまでの教科をこえた学習が期待できる時間です。今月から3回にわたり、町内の各学校の総合的な学習の時間の様子を紹介します。

## 泉水小学校

どの学年も年間を通して「環境」「人」「文化」及び「情報機器操作」の4つの領域の学習を行なえるように単元を組んでいます。

また、今年度はA.L.Tの先生から各学年9回ずつ来ていただき英語活動も行っています。



▲1、2学年の生活科の様子

### 3学年

#### 「じまんがいっぱい 私たちの泉水」

3年生は、1学期から「地域たんけん」をして、地域の自慢をさがしてきました。その中でも、「いい」のことや「信濃川」のことをよく調べたり、地域のスペシャリストの方からお話をお聞きしたりして学習を深めることができました。地域の方々とのふれあいの中で学習した3年生でした。



### 4学年

#### 「あおりの里のお年寄りに詳しくなって仲よくなる」

「体が不自由だし、身寄りがないし、かわいそうだな…」そんなふうに、あおりの里のお年寄りを考えていた子供たち。3回の施設訪問での交流を通して、「身近なお年寄り同様頑張っているところがあるんだな。」と考えるようになりました。



### 5学年

#### 「障害について もっとよく知ろう」

初めは、障害を持っている人に対して誤解や偏見のあった子供たち。ヘレンケラーや山下清など障害を乗り越えて活躍した人を調べることで、すばらしいことをした人たちがいることに気がきました。また、アイマスクや車椅子の体験をしたり長岡聾学校の見学にも出かけたりしながら、自分自身を

### 6学年

#### 「川口の環境を調べよう」

6年生は、水質環境を守るためのさまざまな取り組みについて調べた活動を行いました。

生活排水と環境について考えるため、かわぐち大根の発芽実験を行った、「かわぐち出前講座」の受講や長岡浄化センターの見学などを行いました。きれいな川を守るための工夫がなされていること、普段の生活の中にも注意すべきことがあるなど、水質環境についての学習を進めていきました。



よく見詰め、障害についての理解を深めることができました。

## 川口小学校

川口小学校では、昨年度に引き続き地域に密着した学習に取り組んでいます。体験活動、調査活動を通して「自分で課題を見つける力」や「ものごとを考える力」「自分の考えを表そうとする力」などを身につけています。

### 1学年 (生活科)

#### 「みんななかよし わくわくつばさ」

学校周辺の野原や公園を探索し、草花や虫と遊びながら季節の移り変わりに気づき、たくさんの発見をしてきました。また、育てたさつまいもは、おいしいスイートポテトと焼き芋になりました。



### 2学年 (生活科)

#### 「ひろげようなかよしのわくわく・花・野菜・うさぎ」

飼育、栽培活動を中心に行ってきました。花の苗を遠くの方々にもらっていたり、駅や杜のかたらいにプレゼントしたりしてきました。これからは、かわいいうさぎたちが雪が降っても困らないようにみんなで一生懸命に世話をします。



### 3学年

#### 「川口よいところ 町と人」

川口町の山や川、町の中などいろいろな場所を探索しました。魚野川やアクアランド、また二子山などに出かけ、動植物を見つけた水遊びをしたりしてきました。活動の中で川口町のよいところ、好きなところや自慢できることをたくさん見つけることがで

きました。



### 4学年

#### 「みんな生きる仲間」

アクアランドに通い、季節の変化や生き物の成長の様子を調査しました。11月にはケナフから紙をつくりました。「環境を守る」ということを子どもなりの視点で考え、実践していこうという姿が見られました。



### 5学年

#### 「食生活を見直そう」

米づくりの経験を通して、農業の大変さと喜びを実感しました。



### 6学年

#### 「未来に生きる」

11月末に行われた越佐・ほいさ快議に参加し、まちづくりの提案発表をしました。こんな川口町にしたいという想いが伝わり、これまでに行ってきたタウンウォッチングや町の歴史学習、他市町村の調査の成果が十分に生かされています。





# HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112

メインのまちづくり隊ワーク  
シヨップは、「農」のちからを活  
かし隊「子供たちの夢を活かし



▲大滝聡さんの講演

県内のまちづくりに取り組んで  
いる団体や個人が一堂に会し、交  
流や情報交換、ネットワークづく  
りなどを旨とする「新潟県地域づく  
り交流大会・越佐・ほいさ快議 in  
かわぐち」が11月29日、30日蒼丘  
の杜公園「杜のかたらい」をメイ  
ン会場として開催されました。  
13回目を迎える本交流大会は、  
開催市町村で組織された実行委員  
会が中心となり企画から当日の運  
営を担当。町内外から集まった1  
60人が、個性がひかり輝く「た  
だ1つのまちづくり」II「オンリー  
ワンのまちづくり」をテーマとし  
て、2日間にわたり熱く語り合い  
ました。

また、実行委員長を務めた小西  
明彦さん（荒屋）は「開催して  
よかった？」と聞かれた時「よかつ  
たですよ」と答えられるそんな快  
議になればと思っていました  
が…。反省会の席で実行委員の1  
人内藤フミ子さんから、快議終了  
後すぐに小国町の参加者と交流が  
始まったと聞かされホッとしまし  
た。やってよかった。」と今回の  
快議を振り返っていました。



▲空校舎を活かし隊・木沢小

隊「空校  
舎を活かし  
隊」など6  
グループで  
話し合いが  
持たれ、そ  
の結果はパ  
ネルフリー  
トーク（全  
体会）で発表。その中でも活発な  
意見交換がされました。  
参加された方からは、「川口町  
の元気をもらえて良かった」「た  
くさんの人たちと知り合いにな  
れ、これからも交流がもてそう」  
「もう少し時間が欲しかった」な  
ど沢山のご意見をいただきました。

## 「オンリーワンのまちづくり」を目指して 第13回新潟県地域づくり交流大会「越佐・ほいさ快議 in かわぐち」開催

## 「ひきこもり」ひきこもり ちゃんど知ろう「ひきこもり」

12月12日、生涯学習センターにお  
いて、川口町精神障害者家族会（ひ  
まわり会）と町の共催で「心の講演  
会」が行われました。  
この講演会も4年目を迎え、今回  
は県立精神医療センターの診療部長  
である中垣内正和先生から「ひきこ  
もりって何？ ちゃんと知ろうひきこ  
こもり」というテーマでご講演いた  
だき、昨年より多い約50名の参加が  
ありました。



中垣内正和先生

「ひきこもり」には、①単なるひき  
こもり（6か月以内で改善）②社会  
的ひきこもり③精神病からのひきこ  
もり（要医療）の3種類があり、現  
在問題なのは②の社会的ひきこも  
り。全国に160万人おり、大学か  
ら就職にいたる20〜30歳代にひきこ  
もるケースが多く、3分の2は不登

校経験がある方です。  
原因は対人関係に起因しているこ  
とが多く、社会的ひきこもりの場合、  
ひきこもっている本人の本音は「外  
に出たい」と思っており、ほんの少  
しのきっかけがあれば改善できま  
す。長期にわたり親が疲れる前に保  
健師さんなどへぜひ相談してください。  
まず親が行動を起こすことが大  
切です。」と希望あるお話を頂きま  
した。  
ひきこもりなどの病気では、何  
より地域の一人一人がこれらの病気  
について理解することが大切です。  
「心の健康」について皆さんと共に  
学び、誰もが安心して暮らせる地域  
づくりを考えていくため、これから  
も定期的に心の講演会を開催する予  
定ですので、多くの方からのご参加  
をお待ちしています。  
ひきこもりの相談窓口等  
KHJにいがた「秋桜の会」（親  
の会）岸本則明さん  
☎090-4525-19112  
（その他詳しくは役場生活福祉課へ）

## 2つ以上の年金が受け られるようになった時 は、速やかに届出を

公的年金制度は、「一人一年金」  
が原則です。支給事由の違う年金  
を2つ以上受けることになった場  
合には、その中の1つの年金を選  
ぶ手続きが必要になります。  
本人が「年金受給選択申出書」  
を提出することにより、選択をし  
た年金が支給され、他の年金は支  
給停止されることになります。

ただし、遺族厚生年金（遺族共  
済年金）を受給中の人が65歳以上  
の老齢基礎年金の受給権を得た場  
合や、65歳から老齢基礎年金と老  
齢厚生年金を受給する場合などは、  
2つの年金を受給できる特別な取  
扱いもあります。  
詳しいご相談は、役場生活福祉  
課または、社会保険事務所でおた  
ずねください。  
問い合わせ  
生活福祉課年金係  
☎89-4418

年金は「その時になったら」  
では間に合いません。今が未  
来の安心をつくります。あな  
たも、国民年金の加入と保険  
納付を忘れずに！



## 1月10日は 「110番の日」です

昼夜を問わず安全で平穏な暮らし  
を守る110番の使命です。  
この110番、全て県警本部通  
信司令室で受付られ、同時に無  
線で現場急行を警察署などに指令  
する仕組みとなっています。

◆通信司令室からお願い  
・まずは「あわてず」、「落ち着い  
て」係員の質問に答えながらお  
話してください。  
・110番の件数は毎年増加傾向  
にあります。重要な110番い  
たずら電話は絶対にしていただき  
ください。  
・携帯電話からの110番通報から  
は、かけている場所がわかりませ  
ん、必ず市町村名から教えてくだ  
さい。また、最寄の駅や学校等主  
要な建物など目標をできるだけ詳  
しくお知らせください。

◆メール110番・ファックス1  
10番（聴覚などに障害のある方  
からの通報に迅速に対応するため  
のものです。）  
・nigata-110@pipopa.ne.jp  
（メール110番）  
・0120-279-1110  
（ファックス110番）

## 町民憲章・シンボルマークのパネルを設置

平成14年4月に制定された、町  
民憲章とシンボルマークを広く  
知っていただくため、このほどそ  
のパネルを作成。各地域の集会所  
設や学校、また公共施設などに設  
置されました。

町民憲章とシンボルマークにつ  
いては、「豊かな自然との共生」  
をまちづくりの基本理念として、  
町民と行政が協働して地域の特性  
を活かした個性あふれるまちづく  
りを進めるため、町民が共有でき  
る理念や方向性を目指す将来像を  
明確にするため制定されたもの



川口小学校に設置されたパネル

## 第7回親子ふれあいバトミントン教室 チャレンジゲーム大会開催

バトミントンの簡単なゲームを  
通して、親子でスポーツを楽しん  
でもらう、バトミントン協会主催  
の第7回親子ふれあいバトミント  
ン教室チャレンジゲーム大会  
が、11月23日蒼丘の杜公園体育館  
で開催されました。

当日は、14組28人の親子が参加。  
シャトルをラケットに乗せリレー  
するゲームやラリーの回数を競う  
ゲームなど4種類のゲームを行  
い、その合計ポイントで勝敗を競

- 優勝 大淵英一・芳森ベア
- 2位 内山洋一・拓郎ベア
- 3位 関 雅好・亮太ベア
- 4位 渡辺知恵子・裕也ベア
- 5位 小見友祐・真理江ベア





### ふるさとの味は健康のもと ②

山の幸・川の幸・里の幸  
かわぐちのごっつお

#### するめのしょうゆ漬



正月料理の酒の肴。

するめ(寿留女)昆布(よろこんぶ)とも祝いもの。めでたいお正月料理です。保存料理として作っておきます。

- 材料
- するめ.....1枚
- 昆布.....15cm
- 漬け汁
- 酒.....大さじ4
- みりん.....大さじ4
- しょうゆ.....大さじ2

- 作り方
- ①するめは乾いたふきんできれいに拭く。
- ②横に3等分に切ってから、繊維に垂直にはさみで5mm幅位に細く切る。
- ③昆布も乾いたふきんで拭いてからせん切りにする。
- ④漬け汁の調味料は煮立てて、冷ましておく。
- ⑤容器に④の調味料を入れ、材料を浸す。時々上下を返しながらか、一晩以上漬け込む。
- \*干し大根や数の子を入れてもおいしいです。「かわぐちのごっつお」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から  
阿部 邦子(木 沢) ☎89-3733  
小林由美子(中 山) ☎89-2014

### 21世紀は私たちが主役! ⑩



内藤さんは、内藤鉄工所でお仕事をされています。ドライブが好きで「車で数日かけて遠出をしたい」と話して頂きました。

▼仕事の内容は...? 「水道やガスの配管、鉄工の仕事をしています。配管作業中には水やガスを止めるなどお客さまに迷惑がかかるので、なるべくお客さまの生活に支障をきたさないよう気を付けています。」▼いま一番楽しいことは...? 「仲間どうして飲み会をすることです。」▼趣味は...? 「ドライブ、映画鑑賞、音楽鑑賞、スノーボード、模型づくりです。ドライブは行く場所を特に決めずに出かけることが好きです。スノーボードは年に10回程度、滑りに行っています。」▼行ってみたい場所は...? 「大きな東急ハンズに行って、商品を見て歩いたり、買ったりしたいですね。」▼町に期待することは...? 「桜の花見をすることができるポイントをたくさん作ってほしいです。」

### 短歌

豊作の白菜かんらん取り終へて不作の去年を思ひつつ居り

佐藤 美智

紫陽花の返り咲きなほ鮮やかに  
稲穂ゆれ入道雲と棚田あり  
耳の辺に触れて冷たき治療器具  
過疎の村空いつぱいの赤とんぼ  
新涼の茄子は紫紺に漬かりけり  
落葉掃く祖父そっくりとなりし夫  
虫の音に一日の幸の酒うまし  
草笛の音色なつかし風にのり  
夕闇に俯き咲きし白桔梗  
花萩の露曼陀羅に朝日射し  
西東築に集うて俳句会  
夏の夜半めつたに見えぬ星みつけ  
老人クラブ俳句教室 1月12日(月) 末広荘  
公民館句会 2月7日(出) 生涯学習センター  
※出句締切 午後1時

丸山 トシ  
星野 千恵子  
三輪 京子  
星野 智恵子  
石坂 シゲ  
山田 久子  
喜多村 キヨ  
関 よし  
森山 菊江  
覚張 庄司  
小宮山 トキ  
目黒 せつ

皆さんのページです。投稿をお待ちしています!  
企画商工課 ☎89-3112

## みんなの広場

### 地域の方の協力で おいしい手打ちそばができました

〜田麦山小学校手打ちそばの会〜

12月12日、田麦山小学校において手打ちそばの会が行われました。これは田麦山小学校の児童が自ら種をまき、刈り取ったそばを粉にしてもらい、それを使って手打ちそば作りを体験するもので6年前から行われています。この会を通して、児童と保護者や地域の方が共に協力し合いながらそば打ちを体験し、交流を深めることが期待されています。



▶そば粉をこねています



▲そばは、上手くのびたかな?

当日は同校児童、先生、保護者や児童がお世話になった地域の方合わせて110名が参加、そば打ちが初めての児童は、地域の方や保護者から教えてもらいながら、賑やかに始まりました。力を込めてこねたそば粉をのし棒でのばす時には、なかなか丸くならず、できあがったそばは太いものや短いものなどさまざまでしたが、自分で作ったそばを「こしがあつておいしい。」と食べる児童たちの笑顔が印象的でした。

### 元気です!かわぐちっこ ⑪

平澤 莉瑚 ちゃん(川口1・3歳)

おとうさん 裕一さん  
おかあさん 麻子さん



人見知りせず誰とでも仲良くする莉瑚ちゃん、10月にディズニーランドへ行ってからはシンデレラに夢中で、ドレスを着たりシンデレラになりきっています。ディズニーのビデオを何度も見て、キャラクターがすらすら言えるほどです。ブランコに乗ったら一番高くまで揺らしてほしい莉瑚ちゃんでした。

### 俳句

大内迪子先生選 川口町俳句大会(11月4日)

町長賞  
月の窓開けたるままに眠りをり  
近道の畦道行けば稲匂う  
足弱にあゆみ合わせて月の道  
教育長賞  
母が投げ子が受け掛ける稲架の稲  
廃校と決まりし校舎秋深む  
父の忌や父より多く月仰ぐ  
入選  
雨の萩盛りを過ぎてしまひけり  
改修の堤にはやも草の花  
業種静かに二十日暮れにけり  
芒風静かに一ト日暮れにけり  
母の肩流す思ひに墓洗ふ  
刈田中夕日に映えし潦(にわたずみ)  
夏らしき日も無きままに大根蒔く

藤田 節子  
覚張 次郎  
上村 たつお  
鈴木 良仙  
山田 信  
佐藤 信  
星野 きの  
新宮 山紫  
渡辺 登子  
村山 むら女  
宮 ヨキ  
丸山 好枝  
岡村 佐和子